



もともや

議会だより

第37号

平成27年1月発行

寒さなんて吹き飛ばせ！
(「記念樹の杜」屋外あそび場オープン)

新正副議長が就任・・・P.2～3

議会運営委員会・議会広報特別委員会視察研修報告・・・P.9

市民との意見交換会報告・・・P.10～11

新正副議長が就任

12月定例会最終日に作田博前議長から議長辞任願が提出され、議長職が空席となったため、議長選挙を行いました。投票の結果、國分義之前副議長が新しく議長に就任しました。

また、それに伴い副議長職が空席となったため、副議長選挙を行い、投票の結果、川名正勝前議会運営委員長が新しく副議長に就任しました。

さらに、正副議長の就任に伴い、常任委員会、特別委員会の構成も変更となり、議会運営委員長に國分民雄議員が、議会活性化検討特別委員長に川名正勝副議長が就任しました。



議長 國分義之

副議長 川名正勝

正副議長就任あいさつ

去る12月定例会最終日におきまして、議員各位のご推挙をいただき、本宮市議会議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、改めて託された責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

東日本大震災から3年10カ月が経過し、本市では復興に向けた着実な足音が聞こえてくる中で、依然として原子力災害という大きな課題が残っています。

市議会といたしましては、市民の皆様が安心して生活できる環境を取り戻せるよう、皆様の声を真摯に受け止め、鋭意取り組んで参る所存でございます。

今後とも、市議会の運営が公正かつ円滑に行われますよう、誠心誠意努めて参りますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

常任委員会構成

本宮市議会には専門的・効率的に審査が行えるよう、4つの常任委員会が設置されています。

総務文教常任委員会

所管する主な事項

- 予算や財産に関する事
- 行政経営や総合計画に関する事
- 教育に関する事

委員長 渡辺由紀雄

副委員長 円谷 長作

委員 菅野 健治
三瓶 裕司
渡辺 秀雄

生活福祉常任委員会

所管する主な事項

- 税金に関する事
- 福祉や保健衛生に関する事
- 環境や清掃、消防や防災に関する事

委員長 川名 順子

副委員長 根本 七太

委員 次藤 栄
後藤 省一
川名 正勝

産業商工常任委員会

所管する主な事項

- 商工業や農林業に関する事
- 観光や特産品に関する事
- 企業誘致や労働に関する事

委員長 渡辺 忠夫

副委員長 山本 勤

委員 菊田 広嗣
佐々木 広文

建設水道常任委員会

所管する主な事項

- 都市計画や都市景観に関する事
- 道路や河川、公園に関する事
- 建築・住宅や上下水道に関する事

委員長 渡辺 善元

副委員長 国分 勝広

委員 橋本 善壽
遠藤 孝夫
伊藤 隆一
国分 民雄

※ 矢島議員の辞職により現在4名
となっています。

上記の他、議会運営に関する事項などを決定する議会運営委員会や、必要な場合に議会の議決により設置される特別委員会が設置されています。

議会運営委員会

所管する主な事項

- 会期日程等の議会運営に関する事
- 議長の諮問に関する事項の決定

委員長 国分 民雄

副委員長 佐々木 広文

委員 渡辺 秀雄
渡辺 善元
川名 順子
遠藤 孝夫
渡辺由紀雄
渡辺 忠夫

議会広報特別委員会

所管する主な事項

- 議会広報に関する事

委員長 後藤 省一

副委員長 次藤 栄

委員 菊田 広嗣
菅野 健治
橋本 善壽
遠藤 孝夫
国分 勝広
川名 正勝

議会活性化検討特別委員会

所管する主な事項

- 議会活性化に関する事
- 市民との意見交換会
- 議会基本条例・議員政治倫理条例

委員長 川名 正勝

副委員長 渡辺 秀雄

委員 佐々木 広文
川名 順子
遠藤 孝夫
渡辺由紀雄
伊藤 隆一
国分 民雄
国分 勝広

本宮駅周辺整備検討特別委員会

所管する主な事項

- 本宮駅周辺の整備に関する事

副委員長 山本 勤

委員 議長を除く全議員

※ 矢島議員の辞職により現在、委員長職が空席となっています。委員長は次回の委員会で選任します。

各会計補正予算など 22 議案を可決

定例会 12月

12月定例会（第8回本宮市議会定例会）は、市長から諮問1件、条例の制定や各会計補正予算など18議案と報告3件が提出されました。

最終日には市長から議案2件、議員から発議2件が提出され、討論・採決の結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、請願1件、陳情1件が提出され、審議の結果、請願は採択、陳情は不採択と決定しました。

請願・陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者	審議結果
請 願 第 2 号	平成26年 9月2日	総務文教	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田政志	採 択
				福島県教職員組合 安達支部 支部長 鈴木久之	
				紹介議員 渡辺忠夫	
陳 情 第 5 号	平成26年 11月18日	生活福祉	「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを求める」陳情書	新日本婦人の会 本宮支部 支部長 島田仁子	不採択

議案質疑

三役の期末手当を上げる根拠は

問 県人事委員会の勤勉手当引き上げの勧告を受けて、市長等三役の期末手当を引き上げるのは無理があるのではないか。根拠となる考えは。

答 特別職の手当については現在まで県の対応に準拠してきた。今回も同様である。

臨時職員賃金の減額補正の理由は

問 放射能対策費で臨時職員の賃金が減額補正されているが、その理由は。

答 市で購入したロードスイーパーの運用に1台当たり2名の臨時職員を予定していたが、委託業務で発注したため、当初の人件費分を減額した。

一般会計補正予算 歳入歳出に 9億9,700万円を増額

さらなる市民の安全・安心のために！

(消防出初式)

一般会計補正予算(第7～9号)の主なものは、詳細設計が完了した復興公営住宅の工事費不足分とそれに伴う基金積立、米の生産調整達成者に対する堆肥助成交付金などです。

一方、小・中学校の空調設備整備事業費や白沢総合支所周辺道路改良事業費は、財源である県や国の補助金の減額に伴い減額となっています。

復興公営住宅の整備へ向け

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

復興公営住宅整備費

… 5億6,950万円

長期避難者生活拠点形成基金積立金

… 4億9,615万円

小・中学校空調設備等設置工事費(減額)

… -1億4,500万円

歳入

長期避難者生活拠点形成交付金・基金繰入金

… 9億9,450万円

震災復興特別交付税(減額)

… -1億8,230万円

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、一般会計補正予算（第8号）のほか議案9件、請願1件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲保育士の人数は適正か

保育所条例の一部改正

保育士は足りているのか

説明 国において、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立したことに伴い、関係法令の制定や改正があり、実施主体である市町村が、条例で運営基準等を定めることとなった。保育所の入所定員を、0歳児、1、2歳児、3歳児以上の区分ごとに利用定員を定めるものである。

問 新たな定員基準において、保育士は足りているのか。

一般会計補正予算

空調設備整備の進捗状況は

説明 小・中学校の空調設備整備事業の財源となる県補助金の基準単価補助率が変わり、計画を見直し経費を減額する。

問 事業の進捗状況は。

答 工期は平成27年1月末であるが、冬休み明けにはほぼすべての学校で完了する見込みである。

請願の審査結果

「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金による就学支援事業の継続を求める請願書」は、来年度以降も制度が継続され、就学支援事業を実施できるようにする必要がある、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、一般会計補正予算（第8号）のほか議案4件、陳情1件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲除雪に利用する考えは（ロードスweeper）

一般会計補正予算

除雪に使う考えは

説明 平成25年度に購入したロードスweeperでの除染は、除染電離則等の規定により市の直営での実施が困難となり、本市復興支援事業協同組合へ委託したため減額補正する。

問 ロードスweeperを利用した除雪の考えは。

答 道路除染のほか除雪での運用も可能だが、除雪出勤基準の降雪量には対応できない可能性もあるため、関係部・課と協議したい。

国民健康保険条例の一部改正

本市の出産人数は

説明 健康保険法施行令の一部が改正され、出産育児一時金の支給額が見直されたことに伴い、本市でも条例を改正する。

問 本市の国保加入者では何名出産しているのか。

答 毎年30人弱である。

陳情の審査結果

「集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを求める陳情書」は、国家の安全保障については国が責任を持つて議論するものであるため、不採択とせざるを得ないと決定した。

現地調査

老人憩いの家・「記念樹の杜」屋外あそび場の現地調査を実施し、施設の現状と今後の課題について説明を受けた。

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、一般会計補正予算（第8号）の1件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲堆肥助成交付金事業の今後は（白沢有機センター）

一般会計補正予算

事業の見通しは

説明

堆肥助成交付金事業について、数値の確定に伴い経費を補正する。

問

今後、生産調整が廃止されていく流れの中で、この事業の見通しをどのように考えているのか。

答 この事業は現在、生産調整達成者への助成として行っているが、生産調整も平成30年度で廃止される予定となっている。

市としては、循環型農業を推進する立場から、継続していきたいと考えている。

捕獲隊への委託方法

説明

有害鳥獣捕獲事業は、捕獲件数が増大しており、本宮市有害鳥獣捕獲隊に冬期間も業務を委託する必要があることから経費を補正する。

問 狩猟期間についても業務を委託するということだが、捕獲隊への委託方法はどのように考えているのか。

答 捕獲隊としての活動と自らの狩猟との線引きは難しいかもしれないが、捕獲した際の報告や処分の方法などで区別していただきたいと考えている。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、一般会計補正予算（第8号）のほか4件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲補助金減で事業への影響は（白沢総合支所周辺変形交差点）

一般会計補正予算

事業への影響は

説明

白沢総合支所周辺環境整備の補助金が交付要望額より減額内示となったことに伴い、事業費を補正する。

問 事業費減額により事業工程はどの程度変更となるか。また、減額となった補助金を次年度に交付してもらえない見込みはあるのか。

答 当初予定では、平成26年度で完成する予定であったが、平成27年までの整備予定となる。交付額が減額交付されるなど厳しい状況で、減額となった補助金については、引き続き補助の要望活動が続けていく。

水道事業会計補正予算

賠償金の未収入分は

説明

東京電力からの平成25年度分の損害賠償金を歳入に計上する。

問 東京電力に請求した損害賠償金で未収入分はあるのか。

答 平成23年度の請求分で、原発事故避難者に対する水道料金の減免分や、仮設住宅建設時の加入金免除は、市の政策によるものであるため、賠償の対象外のことから現在協議中であるが、引き続き請求をしていく。

議会活性化検討特別委員会 各条例案を精査しました

市民との意見交換会

9月19日の委員会では、10月23日から開催する市民との意見交換会のテーマを協議しました。意見交換会のテーマは市民から公募しましたが応募がなく、委員から意見を求めました。委員からはさまざまな意見が出され、協議した結果、「定住人口増加への取り組みについて」と「地域の助け合いについて」をテーマに決定しました。

この委員会での決定を受けて、10月21日の会派代表者会議では、資料の説明や当日の役割・進行の確認を行い、10月23日から11月5日にかけて市内7会場で市民との意見交換会を開催し、合計で46名の市民の方に参加していただきました。詳しくは10、11ページをご覧ください。

議会基本条例 議員政治倫理条例

11月21日の委員会では、8月20日の委員会でも協議した結果を受けて作成した各条例の素案について検討を行いました。検討の結果、議会基本条例では、市長等との関係の中で、執行部側の行動については規定しないこと、反問権は付与しないこと、議決事件の拡大について記載しないことなどを決定しました。

また、議員政治倫理条例では、議員に政治倫理基準等に違反する行為が認められた場合の審査請求については、議員5名以上の連署を必要とすることが決定されました。今後は、委員以外の議員からの意見や、パブリックコメント等でも意見を求め、条例作成を進めます。

本宮駅周辺整備検討特別委員会 東西自由通路等の 基本計画調査報告書について調査・検討

10月21日開催の委員会では、「本宮駅周辺東西アクセス整備事業の進捗状況」について市から説明を受けました。主な審議内容は、次のとおりです。

費用等の概算は

説明 JRとの協定による東西自由通路等の基本計画調査報告書がまとまり、今後、議会や検討委員会からの意見を踏まえて検討を重ねていく。

計画概要として、まず、西口広場と自由通路の位置はJRの既存施設に支障のないような計画を前提条件としている。

さらに、バリアフリー化に伴うエレベーターの設置や、自由通路と駅構内通路の施工手法についても、他の駅の事例を参考にしながら本宮駅に合った最良の配置を計画している。また、駅施設は、駅事務室、待合室、旅客トイレ、ホームへのエレベーターを1基ずつ配置する計画である。以上の前提条件を踏ま

え、複数の配置図案を基に概算費用などを含めた計画となっている。

問 西口広場の用地費等の概算は。

答 面積等が確定しておらず、現段階では、金額を示すことはできない。

踏切は封鎖か

問 踏切は封鎖されるのか。

答 現時点でJRからの具体的な話はない。



▲どのような駅舎になるのか

議会運営委員会

議会運営・議会改革について調査

11月17日に宮城県登米市議会を調査研修しました。

登米市議会では、議会の役割を明確化し、公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的に、「登米市議会基本条例」と「登米市議会議員政治倫理条例」を制定しました。

各条例の素案制定過程においては、市民が参加した体制がとられ、最終案に対するパブリックコメントを実施し、十分な討論・協議が重ねられました。

さらに、意思決定の過程の透明性を確保するため、地方自治法第100条第12項の規定による「協議または調整を行うための場」として、全員協議会、会派代表者会議、正副委員長会議、広報広聴委員会、政策企画調整会議、議会改革推進会議を位置づけ、すべての会議を公開しています。

また、議会中継については、インターネットを利用したライブ中継と、ビデオオンデマンド方式による録画中継を実施し

ています。さらに、来年度からの※通年議会導入に向けての準備が進められています。

議会運営は、各議会によつて多様な考え方と手法があり、本市議会のより良い姿を検討していくため、今後もさらに調査研究を行い、議論を重ねていく必要があると考えます。

※通年議会…会期を定めず、年間を通じて会期とする制度



▲登米市の議会運営を学びました

議会広報特別委員会

議会広報の先進地を視察

11月11日に、山形県庄内町議会の議会広報を調査研修しました。

庄内町議会は、山形県町村議会協議会や全国町村議会協議会が主催する議会広報研修会に積極的に参加するなど、精力的に広報紙づくりに取り組んでいます。全国町村議会広報コンクールでは平成24年度に最優秀賞、平成25年度に優秀賞を受賞するなど、先進的な広報紙です。

広報編集に当たっては作家井上ひさし氏の「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを愉快地、愉快なことを真面目に書く」という言葉を編集方針とし、小学校5年生でも読めて、内容が理解できるような専門用語を控え、難しい言葉には注釈をつけるといった工夫が施されています。

紙面は活字詰めにならないようにし、計算された余白を取り、見やすいレイアウトにしています。また、見出しを重視し、興味を引く表現で、かつ見出しを見ることで文章

内容が推察できるよう工夫されています。

この他、議会や議員の活動について町民の疑問に答える「議会解体（わかりたい）親書」のページや、町の施設や事業について町民の声を掲載する「生声ひろば」のページも庄内町議会広報の特徴です。

庄内町議会の編集方針や広報への熱意は大変参考になるものであり、今後の本市の議会だよりに生かしていきたいと考えます。



▲住民に親しまれる紙面になっています（庄内町議会広報）

第2回 本宮市議会 市民との意見交換会

平成25年度に引き続き、本年度も市民との意見交換会を市内7会場で開催しました。本年度は「定住人口増加への取り組みについて」と「地域の助け合い（共助）について～これからの地域のあり方～」の2つのテーマについて主に意見交換をしました。それぞれの会場での結果を報告します。当日の詳しい会議録は本宮市議会のホームページに掲載しています。

いただいたご意見やご提案については、議会活性化検討特別委員会で集約・精査を行い、今後の政策形成に生かしていきます。

岩根小学校区



開催日…10月23日
会場…岩根地区公民館

参加市民…4名

出席議員…次藤 栄、根本七太、渡辺善元、伊藤隆一、矢島義謙、國分義之（6名）

主なご意見

- ・ふるさと納税制度活用に積極的な取り組みを。
- ・定住する人たちをどこから来てもらおうと考えているのか。
- ・本宮では放射能は安全だと訴え、若者定住に取り組みべき。
- ・役所も業者も除雪技術向上に努めるべき。
- ・執行部の議会出席者の3割くらい女性になるよう努力してほしい。

糠沢小学校区



開催日…10月30日
会場…白沢公民館糠沢分館

参加市民…3名

出席議員…橋本善壽、後藤省一、佐々木広文、遠藤孝夫、國分義之（5名）

主なご意見

- ・大玉村は日本一美しい村に加盟した。本宮市はどうなのか。
- ・商店街の活性化がない。安達橋も車が通らない。
- ・除雪が遅く、大雪が降って4日目によやく掃いてもらった。
- ・人口減少対策はやはり結婚して子どもをつくってもらうこと。
- ・人と人とのコミュニケーションがない。解決には、子どもの教育が大切である。

和田小学校区



開催日…10月30日
会場…白沢公民館和田分館

参加市民…5名

出席議員…三瓶裕司、円谷長作、根本七太、山本 勤、渡辺秀雄、川名正勝、渡辺忠夫（7名）

主なご意見

- ・浪江町の方々に本市に定住してもらう取り組みはできないか。
- ・誘致した企業に正社員で雇用してもらえるようにしてほしい。
- ・市道の草刈りなど個人ではなく地域の方々にガソリン代等を助成してほしい。
- ・のり面の立木など大掛かりな伐採は市で行ってほしい。
- ・屋外あそび場の地下連絡通路は危険ではないのか。

白岩小学校区



開催日：10月30日

会場：白沢公民館長屋分館

参加市民：16名

出席議員：菊田広嗣、菅野健治、渡辺善元、川名順子、渡辺由紀雄、国分勝広、作田博（7名）

主なご意見

- ・行政区の除染の件費をまとめて東電に請求できないか。
- ・人口減要因に放射能がある。住民に線量情報が正しく伝わっていない。
- ・仮設生活の方々が定住する施策が必要。
- ・本宮市宅地造成は制約が多い。
- ・県道のり面草刈助成金を。
- ・サロンで市の福祉バスを利用できるようにしてほしい。

本宮小学校区



開催日：11月5日

会場：高木地区公民館

参加市民：9名

出席議員：菅野健治、次藤 栄、佐々木広文、伊藤隆一、矢島義謙、作田 博（6名）

主なご意見

- ・議会だよりや市のホームページに専門用語を使わないでほしい。
- ・集会施設が古く、トイレの洋式化が進んでいない。
- ・公民館移転候補地を住民は聞いていない。住民が納得する形で進めてほしい。市議会で監視する強い態度で臨んでほしい。
- ・住民説明会の内容を賛否わかる形で示してほしい。

まゆみ小学校区



開催日：11月5日

会場：えぼか

参加市民：4名

出席議員：菊田広嗣、三瓶裕司、後藤省一、円谷長作、山本 勤、川名正勝、国分勝広（7名）

主なご意見

- ・企業を誘致するため議員もトップセールスとして活動してほしい。
- ・議員が一つになって、定住人口増加に対する考えを市民に伝える会にしては。
- ・都市マスタープランの計画を見直してほしい。
- ・図書館など大人が楽しめる場所や施設を考えてほしい。
- ・スマートシティの取り組み、方向性を見出してほしい。

五百川小学校区



開催日：11月5日

会場：青田農構センター

参加市民：5名

出席議員：橋本善壽、渡辺秀雄、川名順子、遠藤孝夫、渡辺由紀雄、渡辺忠夫（6名）

主なご意見

- ・天気予報等により前もって除雪の準備をすることが大切では。
- ・本宮の良いところをPRして浪江の方々を受け入れる体制を。
- ・本宮市でも合コンのような企画をやって面白みを出していく必要があるのでは。
- ・企業誘致でも運送業ばかりで定住に結びついていない。
- ・荒井から蛇ノ鼻まで道路整備してほしい。

本会議での討論

12月12日の本会議で、陳情第5号の不採択及び議案第102号の2件について討論がありました。

主な内容は次のとおりです。

陳情第5号
「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを求める」陳情書

この陳情は、付託された生活福祉常任委員会では、国家の安全保障は国の責任で議論するものであるため、不採択としました。その決定について反対がありました。

不採択反対討論 渡辺忠夫議員

集団的自衛権の行使容認は、戦争をしないと誓った日本国憲法の平和主義を根本から否定するものであり、この閣議決定に対し、全国の100を超える自治体が撤回を求める意見書を提出している。本市は非核・平和都市を宣言しており、その趣旨も今回の閣議決定とは相いれないものであるため、本陳情を採択し、意見書を提出すべきである。

不採択賛成討論 根本七太議員

国の安全安心に関しては、それぞれの国会議員が国政の場で私たちを代表して議論しており、その中で現政権が決定したことである。国民の安全安心のため、これらの政策を積極的に進めてほしい。

議案第102号

本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

この議案は、福島県人事委員会勧告に基づく市長等の期末手当引き上げに準じ、議会議員の期末手当を引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

反対討論 渡辺忠夫議員

今回の改正の主な内容は、人事委員会勧告によるものであり、内容は勤勉手当の引き上げである。総合的に考えると職員の給与等は引き下げられてきた経過があるが、議員の期末手当引き上げは、今回は遠慮すべきと考える。

※ 賛成討論はありませんでした。



12月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は全会一致で可決されています。
議案可決後に議長選挙が行われたため、一覧表は議長選挙前のものです。

会 派 名	みらい創和会							新 風 会					市 民 の 会					共	無所属			－	
議員名 議案等	川名	国分	渡辺	円谷	佐々木	渡辺	次藤	遠藤	川名	山本	三瓶	菅野	國分	矢島	国分	伊藤	渡辺	後藤	菊田	渡辺	橋本	根本	作田
	正勝	民雄	善元	長作	広文	由紀雄	栄	孝夫	順子	勤	裕司	健治	義之	義謙	勝広	隆一	秀雄	省一	広嗣	忠夫	善壽	七太	博
陳情第5号不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－
議案第102号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－

※○は賛成 ●は反対 議長（作田 博）は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

上尾市・本宮市議会合同研修会を開催



▲目黒議員による講演

平成26年11月6日に、上尾市・本宮市議会議員合同研修会がえぼかで行われました。

研修会では講師に目黒章三郎議員（会津若松市議会前議長）をお招きし「議員間討議について」講演をいただきました。

会津若松市は、全国自治体の中でも議会改革度ランキングが常に上位であり、全国的にも先進的な議会です。

会津若松市議会では、議会基本条例と議員政治倫理条例をいち早く制定し、議会の役割を明確化し、広く市民に伝えるとともに、議会による政策形成においては、市民参画を積極的に推進しています。

市民との意見交換会で多様な意見を集約し、政策討論会における議員間討議を通じて問題分析から政策立案につなげていきます。

二元代表制の一翼を担い、市政が適正であるかをチェックするための機能が十分に発揮されているようです。

本研修会を通じて「議員間討議」の重要性、さらに議会基本条例と議員政治倫理条例制定までの流れが研修でき、本市議会における「議会改革」の進展に向け、大変参考となる研修会となりました。

市長へ新年度予算要望書を提出



本市では、東日本大震災からの復興、放射能対策などの経費が、今後の市財政に影響を及ぼすことが懸念されます。

さらなる振興のため、より効率的で効果的な財政運営を実行することは、市民の信頼と理解を得る上で大変重要であることから、市議会として12月2日に市長へ平成27年度予算編成に対する要望書を提出しました。

主要要望事項は次のとおりです。

建設水道常任委員会

- ・市道の改良は、重要度・危険度・交通量や地域性を精査し、優先順位を明確にして着手すること。
- ・安定かつ適正な水道事業経営を実施すること。

産業商工常任委員会

- ・原発事故による風評被害等を払拭するため、広域的な連携を図りながら、観光物産の振興を図ること。
- ・企業誘致による雇用拡大を図ること。

生活福祉常任委員会

- ・市民が安心して暮らせる生活を取り戻すために、平成27年度完了に向けて計画的に住宅除染を推進すること。
- ・低炭素・循環型社会の構築を促進するため、再生可能エネルギーの普及を図ること。

総務文教常任委員会

- ・持続的な定住促進を図るため、国や県の制度等を活用し、効果的な施策や事業を展開すること。
- ・耐震化計画に基づき、本宮第一中学校及び白沢中学校の耐震補強工事を進め、整備促進を図ること。

市政を

問

う

12名の議員が登壇



補助要綱にはない除雪機具



伊藤隆一
議員

問 自主防災組織の活動内容は

答 消火・防災訓練などを実施

問 自主防災組織を設立している行政区は何区あるか。また、訓練等の実施内容は。

答 現在の設立数は19団体である。主な活動内容は消火・防災訓練、炊き出しの訓練や火災報知器設置の推進、市の総合防災訓練や南消防署の救命救急講習会への参加などを行っている。

問 設立補助金返還の経緯は

答 町内会の総意ではなく取り下げた

問 自主防災組織の設立にあたり、新たに補助金の交付を受けた団体が購入した備品内容が補助金交付要綱にそぐわないため、補助金の返還を求め、返還されたところだが、その経緯は。

答 交付申請については町内会の複数の方から設立の同意を得ていたとの申し出があり、経過の説明を受けた結果、取り下げとなった。また、補助金交付要綱にない備品が計上されていたことについては、複数人でチェックすべきであった。

問 保育士等の臨時職員は5年の雇用の後、一年ごとの更新となっているが、仕事には何でも「熟練」というものがある。特に今回、条例改正で最大入所定員が78名増えるが、せっかく育った職員が他自治体に流れないようにすべきでは。

答 先輩職員が後輩を一人前になるよう育てているが、全国的にも臨時保育士の抱え込みが進んでいる。その中で能力のある方に引き続きお願いしたいという考えで、5年経過の方には職務評価を受けてもらい結果により更新している。

問 駅舎を含めた東西アクセス整備は、まず第一義として駅利用者のため、その次に市の顔としての役割やにぎわい創出があると考えますが、きちんとまずは第一義の利便性を優先した意見の吸い上げができていますか。

答 東口広場整備の際には市民の方々にアンケート調査を行っている。素案の計画づくりは検討委員会で進めているが、後々その素案を基にパブリックコメント等の手法もあるので、そのような部分で市民の意見をいただき検討していきたい。

その他の質問

・地元産品の販売促進について



民意を十分吸い上げた構想にすべき



菊田広嗣
議員

仕事の熟練を考慮した雇用を

答 規程に基づいて管理している



安全安心のPRを

問 26年度産米の米価は想像をはるかに超える下落となった。また、本県産米は風評被害によりさらに2千円以上安くなっている。こうした情勢は農業者の生産意欲をそぐばかりか、後継者や担い手の確保も困難となる。今後の対策は。

答 一自治体、一単協で解決できる問題ではないと考えている。今後、本宮市単体ではなく、県内の自治体、特に市長会やJAとの横の連絡を取りながら、風評被害対策と併せて全力を傾け、取り組んでいきたい。

問 発災後4度目の稲作が終わった。米からはセシウムは検出されていない。また、除染する業者も手薄である。まだ整備されていない多くの用排水路を除染という名目で整備した方が、農家の皆さんも歓迎すると思うが考えは。

答 実利があるのは理解するが、国からの除染交付金という性格上困難である。側溝の改修等は、県や市の補助金制度の中で対応したい。

米価の下落対策は

答 全力を傾け、取り組んでいく

問 農業用、用排水路除染の変更は

答 交付金の性格上困難である

橋本善壽
議員

その他の質問

・2.15 豪雪による被災者への支援状況は
・県中浄化センターの悪臭に対する考え方は



雨水対策を講じるべき

問 東京電力への請求金額について、平成23年から25年までの各年ごとの額と総額は。また、今後の請求の取り組みは。

答 請求金額は平成23年度が約3億4千万円、24年度が約1億9千万円、25年度が約1億5千万円、総額約6億8千万円である。支払済額は2,787万円。率としては4.1%である。今後も粘り強く交渉を重ねていく。

問 台風、ゲリラ豪雨等による雨水災害が多発傾向にある。中でも道路改良工事や施設建設による災害は雨水対策を講じていれば防げたと思われる。市として用排水路災害防止への取り組みをどのように考えているのか。

答 水路等は基準により降水確率や流域面積等から想定した計画で整備されているが、昨年の豪雨は、その想定をはるかに超えた雨量であり、被害が出た。今後は想定外の降水でも被害を最小限にとどめるようパトロール・維持管理をする。

その他の質問

- ・地区公民館の果たす役割、現状と課題について
- ・観光開発と市街地の活性化について



問 東電への賠償請求の取り組みは
答 粘り強く交渉を重ねていく

根本七太
議員



問 デマンドタクシー運行の見直しは

答 運行委員会に要望していきたい

渡辺秀雄
議員

問 補助団体として商工会が運行しているデマンドタクシー（もとみやイクタンタクシー）の利用者は減少していると聞く。乗降場所が限定されているなど改善要望もあり、利便性を高めるため、見直しの必要があるのではないか。

答 利用者減少の要因はさまざまだが、主に新規の利用者が増加しないことと考える。乗降場所は、商工会新交通システム運行委員会が審議・決定され、現在、医療機関や公共施設に限定されているので、委員会の中で要望していきたい。

問 震災以降、事務事業の増加が著しい。職員からの創意工夫の提案・提言は、行政サービス向上のためにも大切である。奨励する制度もあるが運用されていないと聞く。向上心・競争心を持ち、提案が出せるような職場環境にすべきでは。

答 向上心・競争心を持つて業務に取り組むことは大変重要と認識している。一つの手法として平成20年度に職員1人1提案運動を実施した。これを活用し、市民サービスに結びつくよう、提案が出るような環境づくりをしていきたい。

問 職員からの提案・提言の現状は
答 提案できる環境づくりをしたい

その他の質問

- ・南達振興協議会が休眠状態ではないのか
- ・米価下落が与える問題は



乗降場所を増やして利用者増を



本市にも陸上競技場を建設すべき



問 陸上競技場設置の考えは

答 調査するよう指示をしている

国分民雄
議員

問 アスファルトでの常時練習は、昔と違い子どもたちの基礎体力が違うので足腰の故障につながる恐れが大きい。また、中高生、社会人の強化が必要であり、天候、昼夜を問わず練習できる環境を整備する必要があると思われるが。

答 陸上競技場は必要と考えているが、どういうものが必要なのか、また、最低限全天候型のトラックを整備するのにどのくらいの予算が必要なのかなど、教育委員会に調べるよう指示している。

問 糠沢城ノ内の歩道整備は

答 県に要望していく

問 糠沢光が丘交差点までは歩道があるが、城ノ内までは歩道がなく、危険である。現在、児童は久保内から光が丘団地を通り集団登校しており、早い歩道整備が必要であると思われるが。

答 県道本宮・三春線は、光が丘の交差点から郡山市の境までの約1キロの区間でカーブが多く危険である。県への要望を継続していきたい。

その他の質問

- ・有害鳥獣駆除対策について
- ・本市の米の消費拡大をどのように考えているか



問 米価下落に対し今後の対策は

答 J Aと協力を図り進めたい

渡辺善元
議員

問 米価格の低下で大きな影響が出ている。他自治体では利子補給というような動きもあるが本市の対応は。また、今後の本市の農業振興をどのように進めたいと考えるのか。

答 昨年の災害時にJ Aと共に利子補給をした経過はある。米価についての具体的な取り組みは協議していきたい。振興についても耕作意欲を保てるようJ Aとの関係性を一層強めながら協力して進めていきたいと考えている。

問 各学校の多様な教育への支援は

答 各学校に助成金を交付している

問 各学校が多様な教育を目指していると思われるがそれに対し、支援はあるのか。また、地元食材の学校給食への利用についての考えと現状はどうなっているのか。

答 各学校の特色を生かした学習活動のため、使途を学校に任せた助成金を交付している。給食については、米は従来から10割、牛乳も福島県産を10割、野菜等副食は平成26年3月より使用を開始し、安全を確認しながら増やしている。

その他の質問

- ・パイプハウスの復旧に対する支援の見通しは
- ・教員の人事に本市の考えは反映されているのか



給食に地元産品を使用し風評被害払拭を



移転の経緯説明はきちんとされたのか
(高木地区公民館)

問 人口減少はあらゆるところに影響をもたらす。人口予測を立てて、平成36年までの財政健全化計画を策定すべき。また、その中で公共施設整備の考え方は。

答 本市は平成20年に財政健全化計画を制定し、震災前の人口推移を基礎としている。3年に1度の見直しの中で適正な推移を示し、修正したい。公共施設は長期的な視点で計画的に更新、統廃合等を行い、財政負担の平準化を図りたい。

問 合併支援道路にかかると高木地区公民館移設の候補地選定は住民への説明が不十分で手順がいい加減であると思われる。市長の公約は「直に聞く行政、政策決定のプロセスや行政情報をわかりやすく伝える」であったが、筋が違っているのでは。

答 高木地区の主な役職の方々とは合併支援道路と予算の関係ということで話はさせていただいた。これからしっかりと調査をし、地元に戻すキャッチボールをしていく。今の形は、限られた時間の中での一つの手法ということである。

その他の質問

- ・ 林業活性による地方再生のため CLT 集成材の使用を公共施設に取り入れるべきでは



問 平成36年までの財政計画にすべき
答 3年に1度の見直しで修正したい

国分勝広
議員



問 子育て施設「えぽか」等の利用は

答 利用者には大変好評である

円谷長作
議員

問 平成21年10月にオープンした「えぽか」の利用状況と市内外の割合及びリピーター状況は。11月に利用者10万人を突破したスマイルキッズパークの市外からの利用状況を把握し、また、まゆみちゃんを活用した市のPRに努めるべきでは。

答 えぽかのオープンから平成26年10月末までの総利用者は約86万人である。2施設とも市外の利用者やリピーターの把握はしていないが、利用すると楽しさや良さを感じていただけて好評である。まゆみちゃんは看板等にあらいた。

問 市の高齢化率は8月末で24.4%の7,525人。老々世帯、1人世帯等への孤立防止策は。また、なりすまし詐欺の県全体の被害(8月末で63件、被害額約2億5千万円)は昨年同期より増加。関係機関と連携し対策をすべきでは。

答 孤立防止策は住宅介護支援センターや民生委員の訪問、緊急通報装置の設置など多様に取組んでいる。なりすまし詐欺被害者の多くは高齢者である。被害防止に向けて金融機関窓口での対策や警察署と連携した情報発信を行っている。

問 なりすまし詐欺等の対策は

答 関係機関と連携を図り対応する

その他の質問

- ・ 幼児や児童虐待の早期発見と啓蒙について
- ・ 危険ドラッグによる事故等の未然防止について



ダンシングサンドの砂場も好評です
(スマイルキッズパーク)



正職員での雇用促進を



問 必要な人員は正職員で採用すべき

答 定員適正化計画により配置したい

渡辺忠夫
議員

問 働きやすい職場にするため、市職員の処遇改善として臨時職員から正職員にすべきではないか。特に技術職員と言われる幼稚園、保育所、調理員など必要な人員は全員正職員にすべきと思うが。

答 全員正職員にすると人件費の割合が非常に高くなる。歳入は限られており、財政健全化計画の中で人件費が上がるその他の市民サービスに影響しかねない。定員適正化計画に基づいて正職員の配置をしていきたいと考えている。

問 米価下落による減収対策を所得に対する補償は難しい

答 現段階では所得に対する補償はなかなか難しいが、この間をしのぐための融資に関しての利子補給であれば今までも行った経過があり、他市でも実施されている。どういう形が良いのか、農業団体と一緒に考えている。

その他の質問

- ・住宅地内の指定道路対策について
- ・公営住宅建設について



問 今までの市の少子化対策は

答 環境づくりを一番に進めたい

菅野健治
議員

問 日本人の人口は、2048年には1億人を切ると言われている。政府は人口減に歯止めをかけるため、合計特殊出生率1.8を目指す水準として定めた。今までの市としての少子化対策は。

答 少子化対策については、現在もいろいろな方法があると考えているが、市としては次世代を担う子どもを安心して産み育てられる環境づくりを一番に進めながら、子どもの出生につながる形で進めたい。

問 市の工業団地の現状は

答 新たな工業団地開発を進めたい

問 東日本大震災以降、ふくしま産業復興企業立地補助金を利用し、市内の工業団地の立地はほぼ100%完売したものと認識しているが、市の工業団地の現状は。

答 従前に開発した工業団地は立地が完了した。今は本宮2地区、白沢3地区を新たな工業団地の候補としている。その中で本宮2地区については現地測量をしており、需要の情報もある中で、企業のオーダーに沿う形で進めたい。

その他の質問

- ・本宮駅周辺整備・複合施設整備について
- ・市職員を含む地元雇用のあり方について



さらなる工業団地の振興を



問 左岸築堤に対する要望への対応は

答 個別に相談し対応したい

三瓶裕司
議員

問 Bゾーン地区は家屋が密集し、特に下町地区では15軒中12軒が堤防側を駐車場にし、出入口として利用しているが、計画の盛土後は約50%の急勾配となる。今後、地権者の意見や要望はどのように取り入れるのか。

答 国では、堤防側から車での出入りしていれば整備後の堤防からの坂路等は国が設置し、人の出入りのみであれば階段を設置するなど出入口の機能を確保する方針で、今後は利用者と個別に相談し、対応したいとの説明であった。

問 安達太良川と公園の一体管理は

答 県との調整を図る

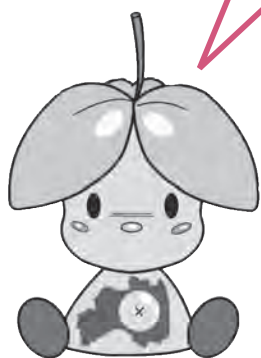
問 安達太良川は、ラブリバー構想や桜づつみモデル事業など、親水公園的に整備された。隣接しているみずいろ公園は市が管理しており市内外から多くの方が訪れる公園である。県管理の安達太良川と一体となった管理・整備は。

答 県では天端及びのり面上部の除草や草刈りを実施している。阿武隈川との合流地点は地域の方に整備にご協力いただき感謝している。映画のロケ地でもあり、それぞれの管理の下で適正に環境整備を行いながら、県との調整も図りたい。

議会を傍聴してみませんか

暮らしやまちづくりに関するさまざまな事柄を、市民の皆さんに代わって決定するのが市議会です。市議会と市長はお互いに討議し、協調を図りながらより良い市政のために努力しています。

市役所の3階の議事堂で開かれる本会議には、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と、必要に応じて招集される臨時会があります。議会日程は、市の防災行政無線とホームページでお知らせしています。傍聴は当日、住所と名前を記入するだけで簡単にできますので、ぜひおいでください。



ホームページアドレス

<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>

にアクセス！

それか、「本宮市議会」で検索してね♪

その他の質問

- ・ 岳山ふれあい実習館の合宿利用の考えは
- ・ 地域福祉ネットワークづくりについて



左岸築堤事業の今後の住民への対応は

第7回臨時会

**修正案が提出されるも
原案可決**

11月4日に、第7回臨時会が開かれ、和解及び損害賠償額の決定や一般会計補正予算(第6号)、公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)を可決しました。

議案第82号の一般会計補正予算の主な内容は、「記念樹の杜」屋外あそび場の安全対策の追加工事費や、自給飼料生産組合等に機械賃借料の支援として交付金を支給するための経費、本宮小学校及びまゆみ小学校の遊具更新工事費などです。

また、神座グラウンド駐車場に建設が予定されている屋内運動施設の設計委託料が計上され、このことについて修正案が提出され、討論が行われました。討論の結果、賛成多数で原案が可決されています。

修正案提案理由

渡辺秀雄議員

この屋内運動施設は、条件に合う場所がなかったという理由で無理に整備場所を決定したため、市民理解が得られない状況である。

計画されている神座グラウンド駐車場は、敷地に幅がなく極端な長方形で利用が限定され、二中からも離れており生徒が使用するにも不便である。また、住民が一番望んでいる県道交差点の改良への影響が心配され、幹線用水路の付け替えも勾配がないため難しい。

課題が多すぎる場所であり、変更が不可能であるなら白紙に戻し、現在進められている第二中学校周辺整備計画の中で総合的に検討すべきである。

以上のことから、この整備に関する予算を削除した修正案を提出する。

修正案賛成討論

渡辺忠夫議員

この事業は市民の意見が十分に検討され決まったものではなく、予算額や内容、特に場所についてあらかじめ定められていたものを地域住民に押し付けるような形で実行されており、将来にわたり遺恨が残ることが懸念される。

修正案のとおり、市民の意向に沿ったものでなければならぬ。十分協議や会合を重ねながら進めるのが適当である。

原案賛成討論

円谷長作議員

この事業は、原発事故により子どもたちの屋外での活動が制限され、体力低下が危惧されている中で、国からの交付金補助100%で屋内運動施設を整備するものである。

本宮第二中学校の施設としてではなく、スポ少や障がい者、児童・生徒はもとより市民全体で活用できる施設として事業を進めるべきと考えており、市の補正予算に賛成する。



屋内運動施設建設予定地(神座グラウンド駐車場)

11月臨時会賛否一覧

これ以外の議案は全会一致で可決されています。

会 派 名	みらい創和会						新 風 会					市 民 の 会					共	無所属		－			
議員名	川名	国分	渡辺	円谷	佐々木	渡辺	次藤	遠藤	川名	山本	三瓶	菅野	國分	矢島	国分	伊藤	渡辺	後藤	菊田	渡辺	橋本	根本	作田
議案番号	正勝	民雄	善元	長作	木公文	由紀雄	栄	孝夫	順子	勤	裕司	健治	義之	義謙	勝広	隆一	秀雄	省一	広嗣	忠夫	善壽	七太	博
議案第82号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	－

※ ○は原案に賛成 ◎は修正案に賛成 欠は欠席 議長(作田 博)は採決には加わらない

※ 会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

声



12月定例会を傍聴された方は13名でした。今回はその中から山崎敏雄さん(岩根字小山)に傍聴の感想をお聞きました。

議会傍聴感想

傍聴は今回で3回目と思います。今回、前回ともに、傍聴に来ている方は2、3人でした。

議会が始まり、自分の持ち時間いっぱい質問する議員もいれば、余裕の時間をもって質問する議員、さまざまでした。

質疑応答には市、議会とも真剣な答弁と思われました。お互い本宮市がより良い市となるよう努力していることがうかがえました。

私たちが選出した議員の方々が質問を行うのですから、もっと議会傍聴に関心を持つべきだと思います。

市、議会の方々にも、平日の議会傍聴は時間的に無理な市民の方が多数いると思われます。市民が多数傍聴できる日程、時間等も考慮していただければと思います。3月定例会も傍聴したいと思います。



山崎敏雄さん

お知らせ

パブリックコメントを予定しています！

本宮市議会では、6月定例会での制定に向けて検討を進めている議会基本条例・議員政治倫理条例について、パブリックコメントの実施を予定しています。

詳細が決まりましたら、防災無線、議会ホームページ等によりお知らせいたしますので、ぜひ、ご意見をお寄せください。

次回3月定例議会は
3月9日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
2月25日です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問い合わせ TEL24-5435 (直通)

あとがき

新年あけましておめでとございます。本宮市が誕生して9年目を迎えました。節目の10年を迎えるに当たり、市では市民憲章・市民の歌が制定されました。市民の歌は防災無線で流れており、市民に親しみやすい曲とされているのは私だけでは無いと思います。もとみや議会だよりも同様に市民の皆様に関心しやすい紙面となるよう努めて参ります。

最後になりますが本年の皆様にとつてすばらしい一年でありますようにご祈念いたします。

(菅野)

発行責任者

議長 國分義之
広報特別委員会

委員長 後藤省一
副委員長 次藤 栄
委員 菊田広嗣
委員 菅野健治
委員 橋本善壽
委員 遠藤孝夫
委員 國分勝広
委員 川名正勝

